

# 令和5年第2回富谷市議会定例会

## 一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菅原 福治	9	長谷川る美
2	菊池 美穂	10	浅野 直子
3	金子 透	11	藤原 峻
4	村上 治	12	若生 英俊
5	佐藤 浩崇	13	安住 稔幸
6	出川 博一	14	渡邊 清美
7	渡邊 俊一	15	塩田 智明
8	畑山 和晴		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	5月24日(水)
受付時間	8:59

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	菅原 福治
質問方式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 市民と共に市の魅力を共有するためには何が必要か

---

【質問要旨】－簡明に－

本市は、平成28年に市として誕生した新しいまちで、都市化が進むにつれて昼間人口の比率が低く、富谷をねぐらとし、地域との関わりが比較的少ない住民と、反面、昔から多世代にわたって富谷に住み続け、生活基盤そのものを市内に置く方々も多くおられます。

いわゆる、昔から歴史と文化を尊重し伝統を継承して来た地域と、一方で他地域、または他県からの移転により、新たな考え方と様々な文化活動をおこなっている地域があり本市に暮らす人々の市民性等については、一概に言い表すことは出来ないと思います。

そこで、市民と共に本市の魅力を共有するためには、歴史的風土と文化を、どのように捉えるべきか、また、市の新たな文化を創り上げるためには何が必要かについて、伺います。

---

【質問項目】－列記－

- 1 本市の歴史・風土・文化をどのように捉えているか。
- 2 本市の文化を醸成するためには何が必要か。
- 3 本市の文化を新たな視点で市民と共有し、魅力に繋げるための方策は。

---

答弁を求める者 市長

議員名	菅原 福治
質問方式	一括 ・ 一問一答

No. 2 質問件名 大規模災害時における地域防災について

---

【質問要旨】－簡明に－

昭和53年、宮城県沖地震において最大震度5を観測し、27人死亡、負傷者1,100人、6万棟以上の家屋が被災し、あれから45年が経とうとしています。

令和元年、政府の地震調査研究推進本部は、宮城県沖地震等の地震発生確率を10年以内に50%、30年以内に90%程度と発表しております。

最近、全国各地で毎日のように地震が発生しており、東北においても大地震はいつ起きても不思議はありません。防災、減災対策は正解も終わりもなく、防災に向けた取り組みは待ったなしです。

本市は、市民の生命および財産を災害から保護することを目的に、令和2年3月に富谷市地域防災計画を新たに策定しました。

そこで、大規模災害時の自主防災組織等の対応について伺います。

---

【質問項目】－列記－

- 1 災害時における避難行動要支援者名簿の更新状況について。
- 2 大規模災害時に最初の避難所となる市内の小学校8校、中学校5校の利用計画は作成しているのか。
- 3 避難所となる学校(成田中除く)と地域の自主防災組織との連携、協力体制についての進捗について。
- 4 防災行政無線の聞き逃し防止対策について。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	5月24日(水)
受付時間	9:11

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 2 番 菊池 美穂

質 問 方 式  一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	菊池 美穂
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 がん対策の強化を

【質問要旨】－簡明に－

我が国において、がんは、昭和56年より死因の第1位であり、令和3年には、年間約38万人と約3人に1人ががんで亡くなっているほか、生涯のうちに約2人に1人がり患すると推計されているなど、依然として、国民の生命と健康にとって重大な問題です。政府は本年3月28日に「第4期がん対策推進基本計画」を閣議決定し、新たな基本計画では全体目標として「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」と掲げられました。

人口の高齢化とともに、がんり患者の数、死亡者の数は今後も増加が見込まれると同時に、医療技術の進歩により社会復帰を果たす方や、長期の療養生活を送る方も増えることが想定されます。女性特有のがんや若年層へのきめ細やかな支援等、広域的な視点を持ち、さらなるがん対策を推し進めるべきと考え、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 がん対策のさらなる推進、必要性について本市の見解は。
- 2 がん対策推進条例、またはがん対策推進計画を策定すべきでは。
- 3 若年層のがん患者在宅療養支援として、40歳未満のがん患者の在宅療養費用（福祉用具貸与や訪問介護等に係るもの）の助成を検討すべきでは。
- 4 乳がん患者に対しての乳房補正具への助成を求めますが、見解は。
- 5 健診受診率向上のための施策は。また、大腸がん検診の検査キットを国保加入対象者全員、または前年度申込者全員に事前送付することを検討すべきでは。
- 6 小中学校でのがん教育外部講師の確保は進んでいますか。また、不登校特例校や特別支援学級に通う児童生徒へのがん教育について。
- 7 市内企業と連携した治療と仕事の両立支援が必要ではないですか。
- 8 ホスピスケア、またはターミナルケア（看取りケア）を行っている市内施設の数。また、今後の高齢化を鑑み、現在の施設数で充足していますか。
- 9 HPVワクチンにおいて、本年4月から9価も新たに無料接種の対象に加えられたことから、正しい知識の周知は十分ですか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 鷹乃杜地区をはじめとする市内の安全対策を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

本年4月20日の夕刻、鷹乃杜バス停付近の十字路交差点で、下校途中の複数名の児童が、高齢ドライバーが運転する車と接触し、救急車が出動する事故が起きました。

当該箇所は横断歩道があり、車側には一時停止の標識と片側カーブミラーがあります。しかしながらその幅員の狭さ、見通しの悪さからこれまでも事故が多く、近年は近隣工業地帯からの抜け道として交通量が急増しており、住民からも心配の声や対策の要望が多く寄せられています。

この事故を受け、通学路と接している路線として、さらなる安全対策は急務であり、市内全域でも同様の事故を繰り返さないよう取り組まなければなりません。高齢ドライバーによる事故を防ぐ観点からもあわせて、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 4月20日に起きた事故について、要因等どのように分析していますか。
- 2 事故の発生をどのように把握していますか。また、保護者、学校、警察、市の関連部局、町内会、見守りサポーター等との連携の中で、情報共有は十分に行われていたのか。
- 3 鷹乃杜バス停付近十字路交差点の安全確保が急務と考えますが、見解は。
- 4 市内通学路において、同様の危険個所の把握は。
- 5 本市で行っている高齢者運転免許証返納支援について、効果をどのように分析していますか。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	5月24日(水)
受付時間	9:15

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 8 番 金子 透

質 問 方 式  一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	金子 透
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 DX推進の取り組みを問う

---

【質問要旨】－簡明に－

国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」（自治体DX）に基づき、全国の自治体はDXの推進に取り組んでおります。

その結果として、行政手続のオンライン化や業務の効率化が進み、市民への行政サービスの向上が図られると考えられます。

しかし、全ての市民の方が、DXについて十分に理解できているとは思えません。受けられるはずの行政サービスが受けられず、取り残される方々の出現も想定されます。DXの推進は、行政・市民が一体となった取り組みが必要であると考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 マイナンバーカードの年代別交付率は。
  - 2 DXの推進にあたり、外部から専門的な有識者を採用する考えは。また、その理由は。
  - 3 誰一人取り残すことのないような、DX推進の取り組みが必要と考えるが見解は。
  - 4 非課税世帯の方に対する、スマートフォンやパソコンの新規購入支援が必要と考えるが見解は。
  - 5 市民向けのスマートフォンやパソコン講座の開催が必要と考えるが見解は。
- 

答弁を求める者 市長

---

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	5月24日(水)
受付時間	9:28

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 3 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 防災の現状と今後について

---

【質問要旨】－簡明に－

ここ数年、全国各地で地震や風水害が多発しています。それにより尊い命や財産が失われています。我々は、このような被害をなくすため、なくせないまでも被害を最小限にするため、災害に適切に備えることは喫緊の課題であるとともに、継続的な見直しや訓練が必要不可欠です。

そこで、以下の点について、それぞれ現在までの整備や実施の状況と、今後の計画について伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 鷹乃杜防災センターをはじめ、避難所へのスポットクーラー整備について。
- 2 三ノ関地区在住の方への水害時の避難に対する説明について。
- 3 令和2年度以降実施された、職員に対する研修や教育について。
- 4 令和2年度以降実施された、市における総合防災訓練について。
- 5 災害に関する協定のうち、発災後、速やかに機能すべき協定について。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	5月24日(水)
受付時間	11:56

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 1 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 AYA世代におけるがん対策について

【質問要旨】－簡明に－

がん患者の方は、40歳以上であれば介護保険、18歳未満であれば小児慢性特定疾病医療費助成制度が適用される一方、その間である18～39歳の方はそれらの支援制度の対象外であり、制度のはざまとなっています。公平性の観点から、この世代へも支援制度があることが望ましいと考えます。

※AYA世代…Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、主に思春期（15歳～）から30歳代までの世代を指す。

【質問項目】－列 記－

- 1 AYA世代のがん患者に対する本市の見解は。
- 2 がんは早期発見が重要であり、そのためには検診やがん教育が有効と考えます。検診やがん教育における本市の取り組みは。
- 3 病名告知を受けた本人や家族が安心して過ごせるよう、相談体制の充実が必要と考えます。本市の見解は。
- 4 AYA世代のがん患者は、高齢者に比べて罹患者数が少ないことや症状が多様であることから、気持ちを共有できる仲間が得られず孤独感や疎外感に苦しむと指摘されています。そのため、さまざまな経験をもつピアサポーターの養成・確保が必要と考えます。本市の見解は。
- 5 18～39歳のがん患者は、介護保険も小児慢性特定疾病医療費助成制度も適用されず、支援制度のはざまにあると指摘されています。さまざまなライフイベントがある世代であり、経済的支援制度があるべきと考えますが、本市の見解は。
- 6 在宅で治療を受けたり、終末期を含め、できるだけ長く自宅で過ごすことを選ぶ患者さんが増加しており、在宅療養への支援制度を導入する自治体が増えています。本市でも検討すべきと考えますが、見解は。

※ピアサポーター…自分も障害や病気の経験があり、その経験を活かして同じ境遇にある仲間をサポートする人のこと。

答弁を求める者 市長

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 子どもインフルエンザワクチン任意接種費用助成について

---

【質問要旨】－簡明に－

本市が令和4年度に実施した子どもインフルエンザワクチン任意接種費用助成事業は大変評判の良いものでした。経済的支援の対象となった中学生までの子どもがいるご家族のみならず、教職員の方々や医療現場に従事されるの方々からも喜びの声が聞かれ、令和5年度以降も継続して欲しいという声が届いています。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 令和4年度に実施した子どもインフルエンザワクチン任意接種費用助成事業における事業費は。
- 2 この事業に関して、市民からどのような声が届いていますか。
- 3 令和5年度以降も継続実施してはとありますが、本市の見解は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	5月24日(水)
受付時間	13:17

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 複合施設駐車場取得と補助金

---

【質問要旨】－簡明に－

昨年10月から今年2月までの間に、NASC A+はりゅうウッドスタジオ設計共同体により、成田公民館において、ワークショップでの活発な意見交換が行われました。

その結果、ワークショップで出された意見を参考に、ブラッシュアップした案がお披露目され、模型を見ながら新しくできる複合施設のイメージを共有しました。

さらに、3月7日の議員全員協議会場で「富谷市民図書館等複合施設駐車場需要及び必要台数検討報告書」が提示されました。

基本設計委託業者決定後の動きについて伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 「基本方針」での駐車場台数は合計451台から、今次の「報告書」による駐車場台数の合計が551台に変更になりました。
  - ① 100台増加した理由は。
  - ② 隣地取得に動いた背景は。
- 2 報告書では、「用地取得費については、都市構造再編集中支援事業交付金の活用を見込み、取り組む予定」であるとしているが、相違ないか。
- 3 都市再生整備計画成田地区による交付対象事業費約33.7億円の内訳は。
- 4 都市計画マスタープラン（地域別構想）策定に係るワークショップの開催予定とその内容は。

---

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 どうなる 今後の介護保険料

---

【質問要旨】－簡明に－

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、本年4月26日に「50年後の日本の将来推計人口」を公表しました。

それによると、2070年には65歳以上の高齢者は3,367万人、人口の4割を占める見通しで、2040年頃に高齢化のピークを迎え、現役世代頼みの社会保障も次第に立ちゆかなくなるとの指摘もあります。

政府は、社会保障の給付にかかる財源について、現役世代が高齢者を支える従来型から、経済力に応じ、全ての世代で支え合う「全世代型」への転換を図ることとしています。

このような状況において、令和6年度から始まる第9期介護保険事業計画について、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 現役世代及び高齢者の医療費窓口負担の増加動向は。
- 2 後期高齢者医療にかかる保険料引き上げ動向は。
- 3 高齢者にかかる介護保険料のみ各自治体での改訂が可能なのか。
- 4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（新規事業）の内容は。
- 5 「保険者機能強化推進交付金」及び「介護保険保険者努力支援交付金」の可視化により、各自治体での比較が可能となった。本市のストロングポイントとウィークポイントの分析と、それに基づく介護支援体制の強化策は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	5月24日(水)
受付時間	13:20

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 鉄道延伸について伺う

【質問要旨】－簡明に－

令和4年3月4日議員全員協議会に於いて、新公共交通システム推進事業について、基幹公共交通システムの導入検討を継続的に進めて行く旨の報告があり、採算性や今後の課題等の説明を受け、事業が実現に向けて進んできているものと思います。

令和3年12月の一般質問に於いて、市全域の発展のためにも、交通網の集約拠点を大清水とし、さらに北進計画を進めるよう、市長に提言をさせていただきました。

市長の答弁は、大清水が交通網の集約地点であり、計画に変更はない。今回は明石台までの計画とすることに理解を求められた事から、次の4問にて質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 令和5年第1回定例会の施政方針に於いて、これまでの地下鉄整備に加えてガイドウェイ・トランジットを含むBRT・バス高速輸送システム整備のため次世代都市交通システムの導入可能性調査を実施すると謳われておりますが、調査の結果、それが有効な事業と考えられた場合、地下鉄構想からシフトを変更する事もありえると考えてよいのか伺います。
- 2 地下鉄延伸の事業費については354億から451億と試算されており、開業後23年から43年で黒字化が見込めると言われておりますが、整備計画を上下一体式と上下分離式にての比較と、事業黒字化の年次やその他の項目について、それぞれの、メリット、デメリットを伺います。
- 3 事業主体が従来方式（上下一体方式、上下分離方式）をPFI方式による事業主体にされた場合、最大のメリットについて伺います。
- 4 泉中央よりの鉄軌道延伸について交通の利便性はもとより、定時性、安全性から捉えても重要な施策であり、明石台から成田、大清水、ひより台、大和、大衡と北進する事により我が市全域だけでなく当該地域の限りない発展につながるものと確信する所であり、23年度のガイドウェイ・トランジットを含むBRTなど、次世代都市交通システムの調査と、新たにモノレールの整備調査なども行い事業主体の一番有効な新交通システムを構築して行く必要があると考えますが、若生市長の見解を求めます。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡 邊 俊 一
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 太子堂団地内の道路舗装改修工事について伺う

---

【質問要旨】－簡明に－

太子堂団地内の側溝改修工事は市長始め、各担当者の皆様のご理解により全区間終了し、これからは、道路の舗装改修工事が行われる事を期待されておった所、水道工事が行われておる現状であります事から、次の3問にて質問いたします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 太子堂団地内の道路舗装改修工事についてはいつ行う予定か、また、優先順位をどの様に捉えておるか、お示してください。
- 2 太子堂団地内の水道管改修工事の工期及び工事進捗率について伺います。
- 3 市内全域で同様の改修工事が必要な地区について伺います。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	5月25日(木)
受付時間	10:02

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月25日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 7 番 畑山 和晴

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 成田東小学校の正門にフェンスのある門を

---

【質問要旨】－簡明に－

成田東小学校正門には、車の侵入を防ぐための背の低い門しかありません。市内の小中学校において、容易に侵入できてしまう学校は成田東小学校のみです。学校の領域性を確保し不審者の侵入を防ぐため、周辺地域の状況や施設の配置に応じて守るべき領域の境界に囲障の設置を計画することが必要であると思います。

また、不審者の侵入や接近を防ぐため、更なる防犯カメラの設置や、必要に応じ赤外線センサー等の防犯設備を囲障の周辺に設置することも必要ではないでしょうか。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 成田東小学校に高さのある門扉が必要であると思いますが、見解は。
- 2 更なる防犯カメラや、赤外線センサーなど死角になる場所への対応が必要では。また、成田東小学校だけではなく、市内の小中学校に対しても、囲障や防犯カメラ等の設置を再検討すべきであると思いますが、見解は。

---

答弁を求める者 教育長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 子ども達の才能を伸ばすための取り組みは

---

【質問要旨】－簡明に－

名取市では、スーパーキッズ育成事業が本年度から実施される予定となっています。本市でも、スポーツや芸術において才能ある子ども達が多くおります。本市では、現在、全国大会などの出場に対しては、補助金を出していますが、全国大会の有無にかかわらず、子ども達がもっと広い分野に興味を持てるような、また、本物を見る・触れる機会があっても良いのではないかと思います。そして、そのための環境整備も、成長を促す大きな要因であると思います。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 様々なプロの方の講演や実演に触れる事業を計画するべきと思いますが、見解は。
- 2 子ども達だけではなく、指導者や保護者向けの講義も必要では。
- 3 スポーツ・音楽・芸術等の環境整備が必要では。例えば、小中学生の練習場所の確保やグラウンド、体育館の整備、音楽ホールの建設など。
- 4 障がいのある子ども達に対して、スポーツや芸術に触れる機会を設けるべきであると思いますが、見解は。
- 5 少子化が進む中、子ども達への投資が未来の富谷の姿となると思いますが、見解は。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 3 質問件名 物価高騰への支援は今後も必要では

---

【質問要旨】－簡明に－

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、私たちはコロナ禍以前の生活に戻りつつあります。しかし、今後、電気代の値上げ、止まらない物価高など多くの方々が苦しい生活を強いられています。

これまで燃料費助成や割増商品券などの施策を行ってきましたが、まだまだ苦しい状況に変わりはありません。むしろ、これまでよりさらに苦しくなっているのではないのでしょうか。特に、商売をしている方々は、新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが2類相当から5類に移行したとは言え、まだまだ通常には程遠く、厳しいというのが現状です。

これから生活していく上で、苦しさから少しでも脱却できる今が重要であると思います。

これまでも多くの対策をしてきましたが、改めてもう一度、市民のために支援策が必要ではないのでしょうか。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 再度、物価高に対する支援策が必要では。
- 2 電気代値上げに対する支援策が必要では。
- 3 5類に移行し、マスクの着用も自由となり、外出する人も多くなりました。今だからこそ、割増商品券の効果があると思いますが、見解は。
- 4 国では、来年度からの3年間で集中的に取り組む「加速化プラン」に児童手当の拡充を盛り込みました。それまでの間、市独自で児童手当の緊急上乘せなど、子育て世代に対する支援をすべきと思いますが、見解は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	5月25日(木)
受付時間	11:49

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月25日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式  一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	長谷川 る美
質問方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 富ヶ丘菜の花保育園の施設整備と今後のあり方について

---

【質問要旨】－簡明に－

社会福祉法人たちばな会が運営する、私立認可保育園である富ヶ丘菜の花保育園は、建物の2階部分であることや園庭がないことなど、子供たちにとって必ずしも整った環境であるとは言えませんが、園長先生や職員の方々の様々な創意工夫の中で、保育園が現在まで運営されてきました。しかし、当初から施設の想像以上の手狭さや、その他の課題についても市に伝えてはいたようでしたが、全ての要望に対しての改善には至らなかったということもあり、たちばな会が本年4月に市に対して要望書を提出されております。また、第二期子ども・子育て支援事業計画において、私立認可保育園に対する支援として「保育園運営基盤の強化及び環境整備を図ります。」との記載があります。一日も早い環境整備が行われることを願い、以下質問いたします。

---

【質問項目】－列記－

- 1 提出された要望書に対する見解は。
- 2 保育園の職場環境に対しての見解は。
- 3 以前、富ヶ丘出張所として活用していた場所を、保育園で活用することは可能ですか。
- 4 外遊びをする際、富ヶ丘保育所やみんなの広場を利用する地域の方とのさらなる調整が必要では。
- 5 富ヶ丘菜の花保育園の運営基盤の強化及び環境整備について、今後どの様に進めていく予定ですか。

---

答弁を求める者 市長

議員名	長谷川 る美
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 協働のまちづくりの推進について

---

【質問要旨】－簡明に－

2021年3月に「わくわくつながるわたしたちのまちづくり、富谷の協働ガイドライン」が策定され、行政は「公共サービスを提供する」という役割から「より効果的な公共サービスが提供できるように、多様な市民が力を合わせて担っていけるような条件を整備する」役割へと変化していくことが求められています。

また、協働のまちづくりのためには、町内会をはじめとする様々な市民活動の充実が重要です。さらに、市民協働を担う人材の発掘や育成、より多くの方々が市民協働に関心を持ち、自分ができることを認識しながら、市民一人ひとりが市民協働のまちづくりを進めるための意識づくりも大切であると考えます。

これらのことを踏まえ、これまでの取り組みの成果や課題を確認しつつ、新たな協働のかたちや視点を模索しながら、市民全員の力でより良いまちづくりを推進することは重要であると考え、以下質問いたします。

---

【質問項目】－列記－

- 1 市民協働のまちづくりを進めるための意識づくりと、ガイドライン策定後の推進に向けた取り組みの進捗状況は。
- 2 市民活動団体への支援（市からの財政支援含）に対する現状と課題について。
- 3 地域コミュニティー団体である町内会の現状と課題について。
- 4 市民協働のまちづくりを担う人材育成について。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	5月25日(木)
受付時間	14:48

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月25日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 17 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 福祉向上に向けた支援について

---

【質問要旨】－簡明に－

高齢者世帯も増加傾向にあり、物価高騰による影響を受け、家計は厳しい状況です。

特に、介護用品の購入については償還払い扱いとなり、一時的とはいえ、受益者が全額支払うことになっています。また、高齢者の熱中症による搬送も多くみられることから、これらのことについての支援策について伺います。

さらに、子育て支援の一環として、衛生面や保護者の負担軽減も含め、全ての公共施設に紙おむつ処理機の設置を求め、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 高齢者の介護用品の購入助成について、現状の償還払いから支払いの選択ができるシステムへ改正すべきではないですか。介護用品の購入は品目が多くなると受益者負担が重くのしかかる状況であるため、支払い方法の選択を考慮すべきであるとありますが、見解を問います。
- 2 全ての公共施設等における、おむつ処理機の導入について問います。
- 3 近年の暑さによる高齢者の熱中症対策・予防について、高齢者の夫婦世帯や一人暮らし高齢者への支援策についての考えを問います。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 災害に対する対策について

【質問要旨】－簡明に－

災害における避難所運営について伺います。

昨今の頻発する地震などによる被害の報道があります。本市における交流人口も増え、もしもの時の避難場所の確保は大事であると認識しています。

仮設住宅の補助対象となるムービングハウスを活用し、平時には多目的に使える施設として活用し、有事の際には移動式の避難所にする事で、プライバシーも守られ、特に、高齢者や子育て世代にとっては最適であると思われます。本市も「とみやど」などのオープンにより、これまでにない人流に対する避難場所の提供が必要となってくることから、事業者との協定を締結するなどの方策も必要になると思われます。

また、高齢化が進む地域や、町内会などに参画しない方々との地域コミュニティについても大事であり、地域防災、河川対策のさらなる推進への取組や、市内にある保育園、幼稚園の避難訓練の状況と本市との連携、備蓄品の協定や現状についても伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 交流人口も増える中で、災害時における避難所として平時は多目的使用として活用し、有事の際は避難所として利用できるムービングハウスは、プライバシー保護や新たな視点から、事業者との協定を結ぶなど積極的な推進が必要であると考え、見解を伺います。
- 2 地域においては安否確認の訓練など地域防災が進められていますが、町内会の中には高齢化率も高くなり、町内会を脱会する方が増え、地域コミュニティも難しい中で、市と地域との災害時における連携、避難施設のバリアフリー等への対応について伺います。
- 3 市内にある保育園や幼稚園等の避難訓練の実施状況や、本市との連携や支援の在り方について伺います。
- 4 備蓄品について、乳幼児、高齢者、障がい者に対する支援内容は万全か伺います。
- 5 豪雨に対する河川対策を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	5月26日(金)
受付時間	8 : 3 0

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 部活動を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

日本体育協会（平成29年）「スポーツ医・科学の観点からジュニア期におけるスポーツ活動時間について」のまとめでは、先行研究より週あたりの活動時間における上限は16時間未満とすることが望ましいということが示されています。

令和4年12月に出された「スポーツ庁・文化庁策定の部活動ガイドライン」における適切な休養日などの設定では、「成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスがとれた生活を送ることができるよう、スポーツ科学の観点から以下を基準とする。（中略）学期中は週あたり2日以上以上の休養日を設ける。1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的かつ効率的な活動を行う」とあります。しかし、平日の毎日の部活動に加え、土日にも練習や試合を行うことにより、振替休養日を設けない市内の部活動があります。成長途中の子どもたちが、過負荷による怪我や障害を防ぐ必要があると考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列記－

- 1 市内中学校で、ハイシーズンが常態化している部活動がある。把握しているのか。
  - 2 ハイシーズンが常態化している理由は。
  - 3 全国的に見ると、ハイシーズンという設定があるのは青森県と宮城県だけで、類似はあるが、ハイシーズンの規定がない都道府県の方が圧倒的に多い。時代に合わないハイシーズンという考え方は、改めるべきでは。
  - 4 ガイドラインのとおり短い時間で、科学的、効果的な部活動をすすめるべきでは。
  - 5 科学的な指導方法の導入のため、大学との連携や、スポーツドクター、トレーナーを招請し、指導者への研修を実施しては。
- 

答弁を求める者 教育長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 町内会の在り方について

---

【質問要旨】－簡明に－

本年1月9日の茨城新聞で、「水戸市が月2回発行する広報紙の委託配布料について、一部の町内会・自治会による不適切な会計処理が問題となっている。市は1世帯当たり550円と一律1,000円の事務費を1,273の町内会・自治会に支払っているものの、会計に組み入れず会長個人が受け取っているケースがあるからだ。住民からは「横領では」との声も聞こえる。」とあります。

本市でも、実際に配布するのは町内会の班長が多いと思われませんが、本来は行政区長の業務として報酬も支払われています。そして、実際に配布させられる班長にお金が支払われていないのは問題ではないか、という声がありました。

班長になった高齢者の方が、広報とみやの配布を杖をついて行っていたという声がありました。たまたま班長になったとしても、その業務を担わされることも問題と考えます。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 町内会の様々な業務がありますが、高齢化もあり、広報配布の業務を切り離していく必要もあるのでは。
  - 2 広報配布の手配はしているとしても、実際に配らない行政区長が広報配布の業務を含んだ報酬を得ているのはおかしいのでは。
  - 3 市として広報配布の方法について再考が必要では。行政区長ではなく、業者等に直接配布委託すべきでは。
  - 4 中野市では、昨年4月から、広報紙などの全戸配布物の配布方法が、ポスティングに変更になりました。この方法は、全国的にも多くの市町村で導入されており、配布物の迅速・効率的な配布と負担軽減を目的としてポスティングを導入しています。費用対効果でコスト面でも効率化が図られるとあるが、本市で検討していないのか。
- 

答弁を求める者 市長

---

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	5月26日(金)
受付時間	8:47

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 穀田線、穀田三ノ関線の早期整備完了を急げ

---

【質問要旨】－簡明に－

穀田線（穀田・郷ノ目橋から大清水間3.78km）歩道整備事業は、平成21年から平成25年までの5年間で整備し、大型車の通行が可能となった。一部複数の地権者から土地提供の同意が得られず、整備率は78%で整備完了には至っておらず、整備中断から10年が経過しようとしている。本市南部と北部をつなぐ重要な生活路線となっており、大型車の通行や交通量も年ごとに増加している。

未整備区間は道路幅員が狭く歩道がないため、歩行者や自転車利用者にとっては特に危険な状態が続いている。

地権者の土地買収の協力を得て、早期の整備を急ぐ必要がある。

また、穀田三ノ関線（市役所北東角から旧4号接続部間730m）は工事着手から5年が経過している。

穀田線歩道未整備区間の整備完了と市役所から旧4号線接続までの供用が待たれる。全線供用されれば、4号線に加え、北部と南部をつなぐ主要路線となり、富谷小学校付近の混雑緩和と物流面の利便性も格段に高まる。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 穀田線歩道未整備区間の整備完了時期は。
- 2 未整備区間の地権者との土地売買交渉の進展は。
- 3 穀田三ノ関線の整備率と供用開始時期は。
- 4 所有権移転登記完了に至らない理由と完了時期は。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 職員の職務の過重負担の軽減とメンタルヘルスについて

---

【質問要旨】－簡明に－

「長期病休6割メンタル不調」の見出しの河北新報記事では、マンパワー不足を背景に、病休者でしわ寄せを受けた職員も休職する「負のスパイラル」が起きているとの指摘も出ていると、報じられている。

宮城県の調査によれば、21年度本市で職場を1カ月以上離れる長期病気休暇取得者は18人で、うち、メンタルヘルス不調による病休者は13人で職員に占める割合は3.7%、18年度と比較し4.3倍（18年度3人、21年度13人）で、県内で最も高い増加率であった。

本市においても、業務量の多さに起因していると思われるメンタルヘルス不調による病休者が年間通して一定数あり、サービス業で顕在化しているのと同様、業務をさばききれないことによる離職につながりかねないことを危惧している。

過重労働からメンタルヘルス不調、離職という「負のスパイラル」を断ち切るためには、業務量に見合う人員を配置し、危機意識をもって対策を講じ、適度な働き方ができる職場環境の改善を模索する必要がある。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 4.3倍の高い増加率をどのように受け止めているか。
- 2 メンタルヘルス不調者への対応と減らすための対策は。
- 3 メンタルヘルス不調による長期病休者の復職後のフォローは。
- 4 メンタル不調による病休取得者が、復職後に配置された部署の管理職の負担増への対応は。
- 5 職員の職務の過重負担の軽減のための取組は。
- 6 人員配置の基準と必要な職員数の算定、意向調査の反映は。
- 7 都市整備課技術参事兼監査監が退職し、後任を充てない理由は。
- 8 業務改善、事務軽減につながるデジタル化の取組、AIの活用は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	13
受付月日	5月26日(金)
受付時間	9:58

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 15 番 安住 稔幸

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	安住 稔幸
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 「書かない窓口」の開設について

---

【質問要旨】－簡明に－

「書かない窓口」とは、住民が申請書に記入することなく、住民票などの交付が1カ所で受けられるワンストップ窓口のことです。

この窓口では、住民が提示したマイナンバーカードや運転免許証などの身分証明書に基づき、職員が氏名や生年月日といった個人情報を確認し、書類を作成します。住民は、書類の記載内容を確認した上で署名するだけです。

窓口に来庁された方の申請書等の記入時間や待ち時間が短縮されるとともに、作業の効率化、住民サービスの向上などが期待できます。

政府は「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の重点取り組み事項の1つに「自治体の行政手続きのオンライン化」を掲げており、本市においても「書かない窓口」の設置に取り組むべきです。

また、身内が亡くなられた時の諸手続きについても「おくやみコーナー」を設置し、遺族に寄り添える取り組みが必要です。

以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 亡くなられた時の諸手続きの流れは。
- 2 おくやみハンドブックの作成は。
- 3 おくやみコーナーの設置は。
- 4 書かない窓口の開設は。
- 5 役所に行かずに手続きができるデジタル窓口の実施は。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 学校等における不審者侵入防止等の取り組みについて

---

【質問要旨】－簡明に－

学校、幼稚園、保育園等は、家庭と同じく、安全でなくてはなりません。子どもたちが、何の心配もなく、のびのびと学べる場所であるべきです。しかし、学校や保育園等に不審者の侵入事件が起こっています。

本市としては、これまで児童生徒等の事故防止にあたり、安全教育の推進と安全点検を含む安全管理を徹底し、学校と関係機関等が連携しながら取り組んでいますが、このような事件が起こらぬよう、対策の強化が必要です。

このことについては、一昨年にも議会で取り上げましたが、更なる不審者の侵入防止策の推進を求め、以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 学校、幼稚園、保育園等における不審者侵入防止に関する取り組み状況は。
- 2 学校、幼稚園、保育園等に110番非常通報装置の設置は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	14
受付月日	5月26日(金)
受付時間	10:16

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 高齢者補聴器購入助成事業について

---

【質問要旨】－簡明に－

県内初の高齢者補聴器購入に対する補助事業は、大きな反響がありました。

補聴器は片耳で平均15万円と高額で、補聴器を利用したい高齢者に対して、購入費の助成は有効な施策であると思います。まだまだ、利用したいと思われる方は多く、今後も多くの方に利用してもらい、安心した生活が送れることが必要と考えます。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 利用状況と利用者の反応は。
- 2 相談から助成までの流れと、申請から助成を受けるまでの期間は。
- 3 これまで事業を実施してきたの問題点と、今後の課題は。
- 4 対象者の拡大、助成金額の増額等の考えは。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡 邊 清 美
質 問 方 式	一 括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一 問 一 答</span>

No. 2 質問件名 病院誘致について

---

【質問要旨】－簡明に－

県が進める4病院再編にかかる病院誘致について、予定地周辺の環境整備、住民の理解が必要と考えます。

また、名取市の県立精神医療センターの移転について反対する声が多く聞かれています。

市として病院誘致をどのように捉えているのかお伺します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 県の動きに対して、市としてはどのように捉えているのか。
- 2 病院建設予定地周辺の環境整備に対する考えは。

---

答弁を求める者 市長

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 3 質問件名 経済的負担軽減、経済支援について

---

【質問要旨】－簡明に－

物価高騰が家庭を直撃しています。

食品の値上げは、すでに2万品目を超え、3万品目に到達する可能性もあり、今後は、電気代も大幅に値上げが行われようとしています。

さらに、教育費の負担も大きく、学費の心配から安心して学べない学生も増えていることや、社会保険料の引き上げ、高齢者の年金引き下げ、75歳以上の医療保険料の引き上げが行われる等、個人の努力も限界にきています。

国の支援だけではなく、市独自の支援が急務と考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 物価高騰をどのように捉えているのか。
- 2 市独自の支援が必要と考えますが見解は。
- 3 学生に対する奨学金を、給付型奨学金にする考えが急務ではないのか。
- 4 市内中小企業に対する支援の考えは。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	15
受付月日	5月26日(金)
受付時間	11:56

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 4 番 塩田 智明

質 問 方 式  一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 保育施設利用条件の緩和を

---

【質問要旨】－簡明に－

就労していない親などの子どもが未就園児となり、親が「育児疲れ」に追い込まれたり、孤独感を抱えたりするケースが少なくありません。

国は、親の就労状況に関係なく保育所を利用できるようにするため、「未就園児」「無園児」と呼ばれる子どもにも支援が届くようにし、すべての親が必要なサービスを使えるような環境整備を目指しています。

保育施設の利用条件の緩和は、保育所に通っていない子どもの孤立などを解消するとともに、育児をしやすくする効果もあります。

年度当初の待機児童ゼロを実現している本市においても、さらなる保育サービスの環境整備、入所審査基準の見直しを望む市民が多いことから、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 国は、今年度から保育所の空き定員や空き教室を活用し、未就園児を保育所などで定期的に預かるモデル事業を始める考えを示しているが、事業の詳細と本市のモデル事業への参加の考えを伺います。
  - 2 本市の保育所の入所審査基準には、おじいちゃん、おばあちゃんに保育を義務付けているような基準があります。保育所に通っていない子どもの孤立などを解消するとともに、育児をしやすくするためにも、「就労等をしておらず、保育することが可能な65歳未満の同居家族がいる場合」の優先順位が下がる入所指数マイナス1の基準を削除すべきと考えるが見解は。
  - 3 昨年度の本市全体のゼロ歳児319人、そのうち明石台、東向陽台地区には4割の130人がいます。今後、明石台東地区の入居者増により、保育サービスを必要とする市民がさらに増加することが見込まれることから、明石台、東向陽台地区の保育施設整備が必要と考えます。本市の見解は。
- 

答弁を求める者 市長

---

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 部活動の地域移行の見える化を

---

【質問要旨】－簡明に－

「運動部活動の地域移行に関する検討会議」の提言は、よく検討されているものと思われませんが、目指す姿の「学校の働き方改革を推進」、「学校教育の質の向上」など、どうしても教師目線で考えられていることが多いように感じます。

そもそも、中学校教育における部活動の目的は何でしょうか。

中学校学習指導要領の総則を要約しますと、「部活動は学校教育の一環として行われなければならない、教育的効果が発揮」され、生徒達が主役であり、生徒自身のための部活動の在り方を考えることが重要です。

教師の労働環境改善も大切なことです。部活動の地域移行の目的や主役を「生徒」に置くことも忘れてなりません。本市の一部のスポーツ団体では、部活動の地域移行に向けて準備を進めており、生徒や保護者の方々も本市の進め方を注目しています。生徒、教師、保護者の三者にとってプラスになるための改革を期待し、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 部活動の意義、目的について、本市の認識は。
- 2 部活動の地域移行に向けた課題は多いことから、まず、モデル事業を実施して課題の洗い出しを行い、対策を講じた後に、すべての部活動で地域移行が円滑に進むようにすべきと考えますが、本市の見解を伺います。
- 3 部活動の地域移行プロセスを見える化して、生徒や保護者を含めた関係者に早急に周知する必要があると考えますが、本市の見解を伺います。
- 4 部活動の地域移行にあたっては、有識者による協議会を設立し、具体的な進め方の検討、委託団体の選定などの提言を受けて、丁寧に検討することが重要です。本市の見解を伺います。
- 5 部活動の地域移行を委託する団体は、学校教育の一環として活動することが求められることから、委託団体選定にあたっては「学校との連携」を重要視する必要があると考えますが、本市の見解を伺います。

---

答弁を求める者 教育長